

志賀原子力発電所 1号機 定期検査中の保守情報 (復水器内の配管溶接部のひびについて)

平成15年6月19日
北陸電力株式会社

第8回定期検査において、復水器の点検を実施していたところ、復水器内部にある原子炉給水ポンプ(A)の戻り配管*さや管部にひびを確認しました(6月12日公表済み)。

引き続き復水器内の戻り配管の点検を実施していたところ、本日、原子炉給水ポンプ(B)の戻り配管(厚さ約8mm)の溶接部に長さ約26cmおよび約15cmの貫通したひび(同一溶接部に2箇所)を確認しました。

この溶接部は安全上重要な箇所ではありません。

本点検作業は、定期検査の中での自主的な保守作業であり、当該部については配管を取り替えるなど適切に修理を行います。

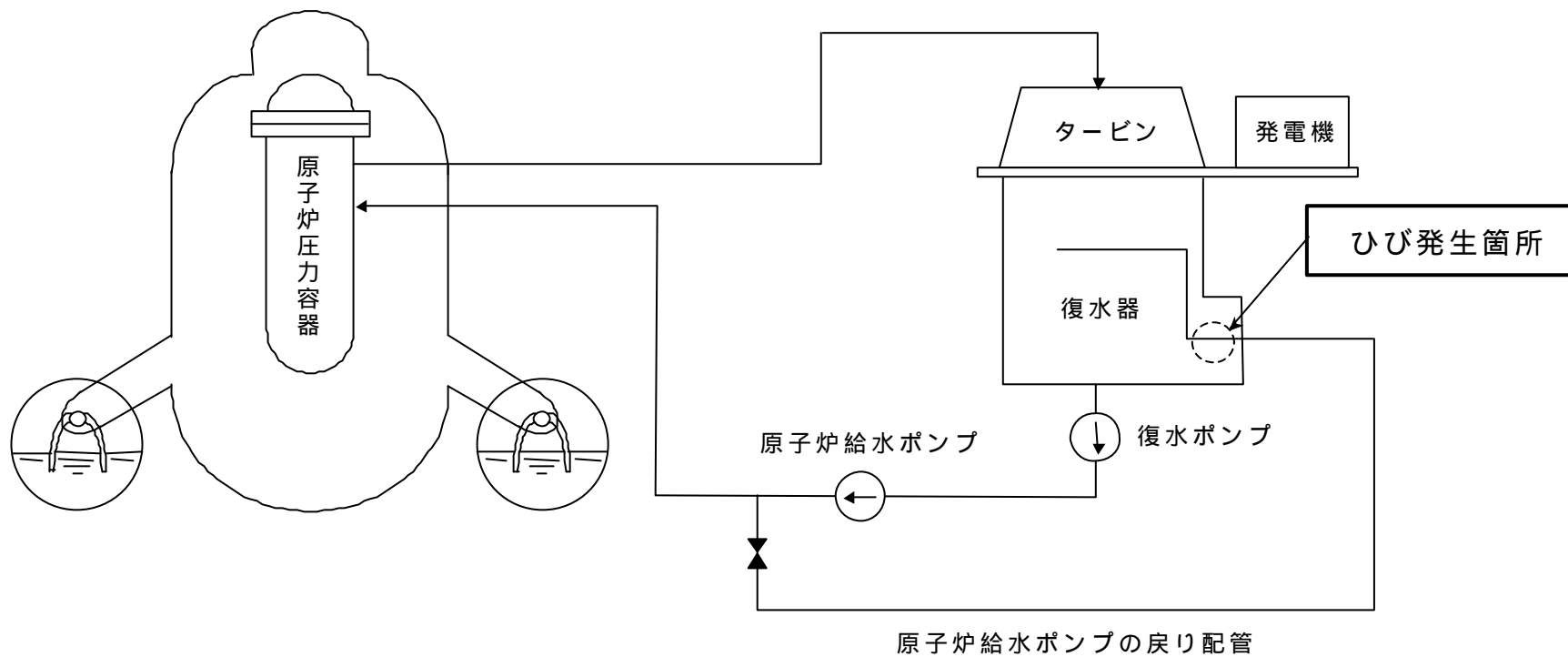
本事象は法律、通達および安全協定に基づく報告対象に該当しない軽微な事象ですが、より一層情報公開を推進する観点からお知らせするものです。

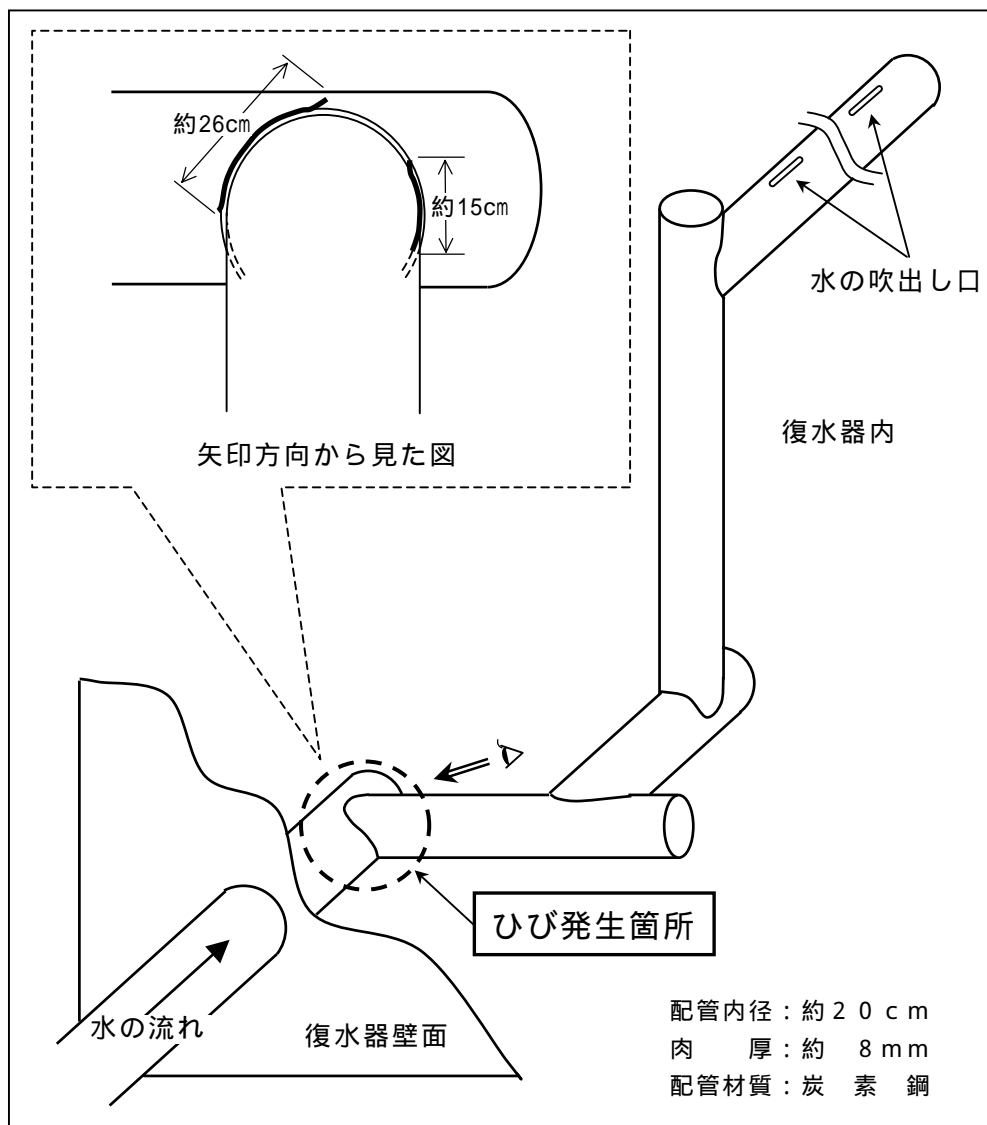
なお、今定期検査で行う復水器内の配管の点検においてこのような軽微な事象が発見された場合には、点検作業終了後にまとめて公表します。

以上

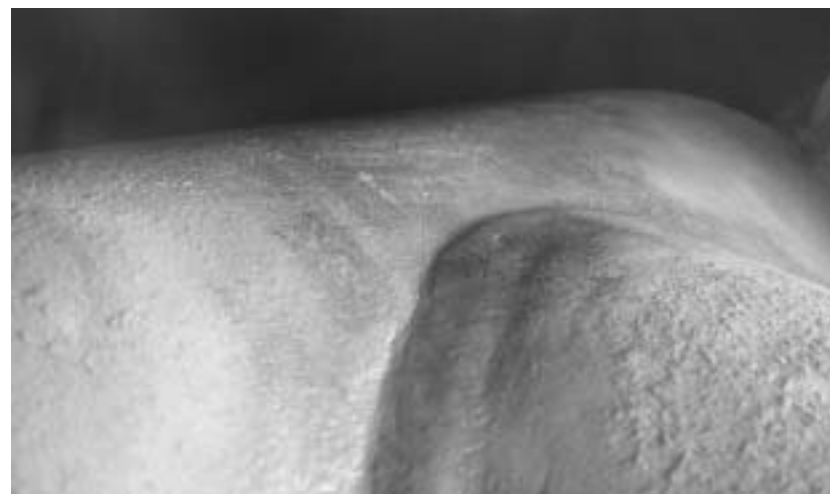
*給水ポンプの戻り配管
原子炉の起動・停止時などに、原子炉給水ポンプの運転に必要な最少の流量を確保するために設けたポンプ出口から分岐し復水器へ戻る配管。
今回ひびが確認された箇所は復水器内にあり、ひびが貫通していても水が外部へ漏えいすることはありません。

志賀原子力発電所 1号機系統概要図





ひび発生箇所概略図



ひび発生箇所写真



ひび発生箇所写真
(狭隘部のため鏡にて撮影)